

署名を広げて 日本政府に核兵器禁止条約に批准するよう迫りましょう。

日本原水協 土田弥生事務局次長の訴え

冒頭から皆さんを脅かすつもりではありませんが、今世界は戦争か平和か、核破局か核廃絶かの岐路に立っています。ご存知のように、世界に暗い影を投げかけているのはロシアのウクライナ侵攻、今も続く戦争、そしてロシアの核兵器使用の威嚇が繰り返し行われていることです。

ロシアの威嚇に対してアメリカのバイデン大統領は、アメリカも抑止力の強化で対抗し先制不使用宣言を拒否しました。

危機はウクライナだけではなく、この戦争に乗じて世界中で核兵器使用の危険が高まり、軍事同盟強化の大規模な軍拡、すなわち軍事費の異常な増加が起っています。これまで中立国だったフィンランド、スウェーデンのNATOへの加盟はそれを物語っています。日本でも特に最近の北朝鮮のミサイル発射、これ自体は心配なことに違いありませんが、これを利用した北朝鮮の脅威を超えて中国ロシアの脅威を垂れ流し、東アジアの米中覇権争いでアメリカの核戦略に加担し、敵基地攻撃能力の保持、憲法改悪、防衛費の倍加と戦争する国づくりへひた走っています。世界は軍事対軍事、核対核へ向かうのか懸念が広がっています。

しかし、このような危険な動きに、国連の圧倒的多数の国々、市民社会は立ち上がっています。それを象徴するものは、人類史上初めて核兵器のあらゆる活動を禁止した核兵器禁止条約が発効し、今年6月第1回契約国会議がオーストリアのウィーンで開かれたことです。締約国会議は、グテーレス国連事務総長の核兵器が我々を滅ぼす前に核兵器はなくそうとの呼びかけで始まりました。世界は今核戦争の瀬戸際に立っています。この危機に対して会議は核兵器の使用・威嚇を許してはならないと、これを明確に避難したウィーン宣言を全会一致で採択し、世界に強力なメッセージを発信しました。この会議には、多くの政府代表、多くのNGOや平和団体、国会議員、被爆者や核実験被害者が集まり、核兵器のない世界を実現するとの結末が作られました。この結末した力は、締約国会議から約1か月後の8月に開かれた、NPT再検討会議で保有国らを追い詰めました。メディアは最終文書がまとまらなかったということで、失敗決裂と報じましたが、核保有国や核の傘の国が、核軍備撤廃のNPT第6条の義務や、自らの核兵器をなくすとの過去の再検討会議の合意を履行しようとしなかったことへの批判はかつてなく広く大きいものでありました。

NPT再検討会議の初日、岸田首相が発言しました。核兵器廃絶は目標と言いながら、第6条の義務や過去の合意の履行、核兵器禁止条約にも一切触れず批判と失望にさらされました。締約国会議には依然「核抑止力」を信奉しながらノルウェー、ドイツ、ベルギー、オランダなどNATO加盟国がオブザーバー参加をしました。アメリカの同盟国のオーストラリアも参加しました。日本は被爆国であるにもかかわらずオブザーバー参加さえしませんでした。核兵器禁止条約が誕生したように世界の圧倒的多数の国と市民は、核兵器のない世界を求めています。それに反対しているのが一握りの核保有国と同盟国です。逆に言えばこれらの国で変化が起これば核兵器のない世界へ大きく前進することができます。この点で皆さんに訴えたいことがあります。日本政府に核兵器禁止条約に批准するよう迫りましょう。日本が禁止条約に入れば世界の核廃絶は大きく前進します。

日本を取り巻く危険な情勢に軍事や核で対応するのではなく、外交や憲法9条、紛争の平和的解決で対応する転換点にもなります。今この署名を集めています。皆さんのところでもぜひこの署名を集めてください。2023年11月にニューヨークの国連本部で第2回締約国会議が開かれます。それに向けて日本政府の核兵器禁止条約批准を目指して共に頑張りましょう。

子どもたちの未来に、核兵器のない・戦争のない世界を！

2023年版ちひろカレンダーの普及にご協力ください。

いわさきちひろカレンダーは、1975年（76年版）「ベトナムにヒロシマ・ナガサキをくり返させるな」と「核兵器廃絶、被爆者援護・連帯のちひろカレンダー」として生まれました。

今年2月からのロシアによるウクライナ侵略という蛮行は、核兵器使用の威嚇を繰り返す中ですすめられており、戦争やめろ、核兵器使わない・なくせの声を平和のメッセージである「ちひろカレンダー」にこめて届けましょう。

ちひろカレンダーの普及は被爆者援護・連帯の輪を草の根にひろげるとともに、全国の原水協を支える重要な財政活動となっています。

ちひろカレンダー A版・絵7枚定価 1400円＋税（送料別）



「ちひろカレンダー」を被災地へ贈る  
～募金のご協力をお願い～

2012年より、東日本大震災・東京電力福島第一原発事故の被災者をはじめ「被災地カレンダー贈呈募金」に取り組んでいます。

<郵便振替01810-8-21283>

【口座】原水爆禁止長崎県協議会  
「被災地カレンダー」と明記ください。※領収書は郵便振替の「控え」に代えさせていただきます。

「原水協通信」2022年購読料  
¥2,640円。送金お願いします。



原水協通信

BULLETIN OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

核戦争阻止、核兵器禁止・廃絶、被爆者援護・連帯などで草の根と世界を結ぶ原水爆禁止運動がしっかり学べる唯一の機関紙「原水協通信」の普及にご協力ください。